

## 市民と歩む 新しい鴻巣 51歳 無所属

なみ き 埼玉県議会議員  
並木まさとし発行者  
速報先埼玉県議会議員 並木正年  
〒365-0038 鴻巣市本町3-2-19-B  
TEL.541-7777 / FAX.543-8000

並木まさとし

検索

namikimastoshi@soleil.ocn.ne.jp

## 箕田地区 産業団地の整備状況

事業期間 令和元年度～令和6年度  
総事業費 約52億円  
令和4年度予算 約2億7,000万円

現在は立地企業の公募について検討中

## 川幅日本一「御成橋の4車線化」

## 並木まさとしの質疑

東松山市から吉見町、鴻巣市に至る県道東松山鴻巣線は、国道254号や国道407号に接続し、鴻巣市内では荒川を越えた御成橋東交差点で上尾道路と接続する予定である。現在、圏央道桶川北本インターチェンジから鴻巣市箕田交差点までは、国において、上尾道路二期工事9.1キロメートルの事業化により用地買収が進められており、県道東松山鴻巣線も整備を進める必要がある。

この路線の課題は、河川区域である2,537メートルの川幅日本一の荒川に架かる御成橋の4車線化であり、河川区域内の都市計画の変更や、長さ805メートルの橋りょう建設が挙げられる。令和2年9月定例会の一般質問において、道路構造の検討に必要な現況測量を実施することが答弁されたが、都市計画の変更に向けた進捗状況と今後の見通しについて、県土整備部長に問う。

## 県土整備部長の答弁

県道東松山鴻巣線は、東松山市内の国道254号、国道407号と鴻巣市内の国道17号を東西につなぐ幹線道路で、国が整備を進めている国道17号上尾道路とも接続する重要な路線です。

御質問の荒川河川区域内の4車線化について、まずは、鴻巣市と吉見町の行政境から上尾道路に接続する区間までの都市計画を一体的に変更する必要があります。

この都市計画の変更に向けては、県では、これまでに、現況測量や橋の構造の検討を行い、現在、既存の御成橋の上流側に2車線の新たな橋りょうを架設し、4車線化する計画で国と協議を進めております。

今後は、橋りょうや道路の設計を進めるとともに、国などの関係機関との調整を図りながら、**4車線化に向けて鋭意取り組んで**まいります。

## 基準病床数の拡大と医師の確保を！

本県は人口10万人あたりの一般病床数・療養病床数が全国下位であり、医師数では全国最下位の状況です。医療資源(病床数・医師数)の少なさからも病院のひっ迫や入院先の確保、手術の延期など一般医療への影響が大きいことから基準病床数の検討をおこなう必要性に迫られている時期だと思えます。

また、医師の確保については今年の特別委員会で地域枠の奨学金貸与枠の拡大について取り上げ「医師確保のために医学生奨学金、臨床研修医、後期研修医の研修資金制度の拡充・地域枠の拡大に努めること」と意見提言をおこないました。医学部の総定員は厚労省の有識者会議「医師需要分科会」の議論を踏まえて決めており、2023年度から感染症科・救急科の優先枠が創設されるようですが、人口に応じた地域枠定員の拡大や新たな医学部の創設も必要だと思えます。

## 基本姿勢



駅頭活動は通算350回を達成!

### 顔が見える市政

「市民の目線に立った政治」を貫くために、政策決定は対話を重視して進め、市民が話しかけやすい市政を目指します。  
これまで継続してきた駅頭活動などはこれからも続けます。

### 公平公正な市政

市政運営のうえで最も重要な「市民から信頼される政治」を貫くため、疑念の持たれない公平で公正な政治に徹します。  
また、情報公開を徹底し、市民が主体の市政を目指します。

### 「賢く」「省く」市政

今後ますます市の財政が厳しくなることも想定されるなかで、「市民にとって真に必要な施策に注力する政治」への転換を進めます。  
変えるべきところは大胆に変え、必要な施策には集中的に予算を投資します。

## 市民と歩む 新しい鴻巣をつくるための

### 「並木まさとし」と「市民の皆さん」との8つの約束

市民と歩む、新しい鴻巣をつくるための8つの約束。今後、市民の皆さんと対話を重ねていくことで、今まで以上に愛される鴻巣市をつくるための政策へとバージョンアップしていきたいと思えます。皆さんのご意見をお待ちしております。

つくる

「未来への投資」で  
活力をつくる

子育て世代や市内産業への未来を見据えた投資を行います。

## 子育ての安心

をつくる



- ▶ 兄弟で別の保育園に通っている家庭などをサポートするため保育枠のさらなる充実と希望時期入園の整備
- ▶ 駅前保育ステーションなどにおける送迎費の負担軽減
- ▶ 多子世帯の学校給食費軽減補助事業の創設から子育て世帯を応援

## 教育先進都市

をつくる



- ▶ 学力・学習状況調査で県平均以上を目指し、データに基づく学力の底上げを実施
- ▶ 市独自で高校進学の際の「父母負担軽減」を県外校にも拡大し、子どもたちの進路選択を応援
- ▶ 子どもの発達に応じた「インクルーシブ教育システム」による教育の基礎的環境を整備

## まちの活力

をつくる



- ▶ 「観光資源の発掘と市民協働」による市民が中心となったまちの賑わいづくり
- ▶ 農業生産基盤を整備し加工品や製品の「優良ブランド化の支援」による農業・産業の振興
- ▶ 公共施設への「ビルエネルギー管理システムの導入」など、気候変動に対応した環境に優しいまちづくり

つなぐ

「地域・市・県・国」を  
経験でつなぐ

これまでの経験を活かし、次の時代の鴻巣を市民とともにつくりまします。

## 地域と行政

をつなぐ



- ▶ 公園清掃などの報奨金制度を創設し、市民と地域力による世代間交流とシビックプライドの醸成
- ▶ ニーズの高い「道路改修と路面標示の更新」で快適な道路環境を整備
- ▶ 地域課題や要望を把握するための自治会や事業所訪問の実施



大野知事と市政と県政を“つなぐ”情報交換

## 鴻巣市を県・国

とつなぐ



- ▶ 荒川に架かる「御成橋」の4車線化による渋滞対策と緊急輸送道路の事業推進
- ▶ 上尾道路の接続市道に交通の利便性と安全性を確保
- ▶ 集中豪雨や台風などに対応するため国や県と緊密に連携をした治水対策と監視体制の強化

まもる

「くらしの安心」を  
全力でまもる

福祉と防災に注力することで、安心で安全なくらしを守り抜きます。

## 福祉の安心

をまもる



- ▶ 高齢者などの見守り支援による誰もが安心して暮らせる仕組みづくり
- ▶ 人生100年を豊かにするシニアの社会参加推進プランの策定
- ▶ 高齢者や障がい者の移動を確保するために「デマンド交通」等の運行拡大

## 市民の安全

をまもる



- ▶ 「カーナビ」を活用した急ブレーキ箇所や交通事故多発地点の把握による交通安全対策の推進
- ▶ 防犯パトロール団体などへの積極的な支援と人材(財)の育成
- ▶ 想定外を想定する災害対応力の構築と命を守るシナリオ作成の実施

## 健全な財政

をまもる



- ▶ 地元企業への発注と購入の優先的推進による安定経営と雇用の維持・拡大
- ▶ 事業所との連携を強化した「ふるさと納税」収入増による財源の確保
- ▶ 市有未利用資産の保有・利活用・処分(ファシリティマネジメント)の推進

つくる・つなぐ・まもる 新しい街づくりを皆さんと一緒に!